



画：長田 清（登別美術協会）



令和7年(2025年)

7月号

第530号(第44巻第4号)

目次

- | | |
|--------------------|------------------------|
| P1 蔵書点検・施設のご案内 | P2 行事のお知らせ・図書館カレンダー |
| P3 工作のお知らせ・ご寄付の報告等 | P4 事業の報告・お花のお礼・展示のお知らせ |
| P5 職員エッセイ | P6 アーニス分館だより・職員おすすめ本 |
| P7 今月の新着おすすめ本 | P8~P12 新着図書案内 |

編集・発行 登別市立図書館

図書館WEBサイトQRコード



〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

電話(0143)85-4324 FAX(0143)85-4325

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

蔵書点検による休館のお知らせ

図書館では毎年7月に休館し、蔵書の点検と整理を行います。
休館期間中、以下の図書館では本の閲覧・貸出返却・予約本の受け取りが出来ません。

本の返却は返却ポストをご利用ください。

*移動図書館車「こぐま号」は、通常通り運行します。

*蔵書点検期間中は予約本のご用意が遅れる場合があります。

*登別配本所は点検作業のため一部利用に制限がかかる場合があります。

休館期間	
本館 アーニス分館	7 / 4 (金) ~ 7 / 11 (金)
鷺別配本所	7 / 8 (火) 9時~13時



図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別港町1-4-9	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	平日 83-1131 土日祝 50-6602	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30	巡回表のとおり

映画会

※会場は図書館3階会議室です。入場無料、申込は不要です。

7/12(土)15時
こども映画会

「日本の昔ばなし 花さか爺さん ほか」(約30分)

◎むかし、むかし、あるところに…。

日本各地に伝わる民話や昔話をいくつか上映します。

ぜひ、お子様とご一緒にどうぞ。

※来月も同シリーズから何作か上映します。



7/13(日)13時30分
アフタヌーンシアター

「ローマの休日」(118分)

◎ローマに滞在中の王女アン。ある夜、自由を夢見て公邸から脱走。街中で新聞記者ジョーに偶然出会い、やがて恋心が芽生えていく二人。永遠の名作をお楽しみください。

※来月は「綾小路きみまろ 爆笑エキサイトライブビデオ」を上映します。



おはなし会

※会場は①③図書館1階えほんのへや、②アーニス分館です。
入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなし会(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 7月12日(土) 14時より ※毎月第2土曜日

②デジタル分館おはなし会(電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ)

日時 7月13日(日) 14時より



今回は日曜日です!

③おはなしぽけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター)

日時 7月26日(土) 11時より ※毎月第4土曜日



図書館カレンダー 令和7年(2025年) 7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 分館休館日	4 蔵書点検休館(7/11まで) ← 本館・アーニス分館	5
6 蔵書点検休館(7/11まで)	7 蔵書点検休館(7/11まで) 本館・アーニス分館 蔵書点検休館 9~13時	8	9	10 本館・アーニス分館	11 →	12 おはなし会 こども映画会
13 アフタヌーン シアター 分館デジタル お話し会	14 本館休館日	15	16	17 分館休館日	18	19
20	21 海の日 本館休館日	22 祝日振替 本館休館日	23	24 分館休館日	25 図書整理日 本館休館日 分館休館日	26 おはなしぽけっと
27	28 本館休館日	29	30 分館夏休み お楽しみ会	31 分館休館日	8/1	8/2 分館デジタル お話し会 夏休み工作



「登別育ちの絵本作家つるたあきさん おはなし会＆ワークショップ」を開催しました

5月24日(土)に「登別育ちの絵本作家つるたあきさんおはなし会＆ワークショップ」を3階会議室にて開催致しました。

第1部おはなし会には大人25名、子ども19名とたくさんの方が参加し、会場はほぼ満席状態となりました。「かえるじゃん」や「けろずもう」などのつるたさんご自身の作品の読み聞かせやつるたさんが子どもの頃に図書館で読んでいたカエルの絵本などを紹介していただきました。また質問コーナーでは、好

きなカエルのことや絵が上手くなるための方法など、子どもたちの様々な質問に答えていただきました。

第2部のワークショップでは「あなたが想像する、素敵なカエルを描いてみよう！」をテーマに、つるたさんが描いた4種類のカエルの絵に自由に色を塗り、冒険者になったつもりで新種のカエルを作成しました。作成したカエルは、つるたさんから作品の良かった点などをひとりひとりにメッセージをいただき、子どもたちはとても嬉しそうな様子でした。また、つるたあきさんに描いていただいたサインが児童室にありますので、ぜひ見に来てください。たくさんの方のご参加ありがとうございました。



夏休み工作

「くるくるまわる うらないちよきんばこをつくろう！」

お金を入れるとくるくる回って占いが出来る仕掛け貯金箱を作ります。

日 時:8月2日(土) 10:30~12:00

場 所:本館 3 階会議室

定員人数:親子・きょうだいの二人 1 組で 8 組まで

対 象:年中(4 歳)~小学生

申 込:電話または児童室のカウンターへ

(定員になり次第終了)

申込受付期間:7月17日(木)10:00

~7月30日(水)18:00 まで



ご寄付の報告

6月12日(木)、登別ロータリークラブ様から図書購入費のご寄付を頂きました。同クラブ様からは1973年から継続的にご寄付を賜っており、これまで 1,500 冊以上の図書の充実に活用させて頂いております。受け賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

登別市立小学校・中学校教科書展を行いました

6月1日(日)～6月24日(火)の期間、本館1階ロビーにて登別市内小中学校で使用している教科書の展示を行いました。実際に教科書を使用しているお子さんだけでなく、幼児や大人の方も興味深くご覧になっている様子がうかがえました。



幌別東小学校 3 年生が見学に来てくれました

5月21日(水)、幌別小学校3年1組36名が図書館へ見学学習に来てくれました。図書館の1階から3階までをぐるりとまわり、児童室や閲覧室だけではなく普段は見ることのできない閉架書庫や移動図書館車「こぐま号」の車庫の中なども見学をしました。

また、3階の会議室では児童から図書館への質疑応答を行いました。「本は全部で何冊ありますか？」や「図書館の本は、どのような並び方になっていますか？」などの質問があり、図書館からの回答に興味深そうにメモをとっていました。



この日初めて図書館に来た児童もいれば、これまでに何度も本を借りに来たことがあるという児童もいるとのこと。

これを機会に、ぜひまた図書館に本を読みに来てくださいね。



登別中央福音教会 教会学校のみなさんから「感謝のお花」を頂きました

登別中央福音教会の教会学校では6月の第二日曜日を 感謝の気持ちを伝える「花の日」として活動に取り組んでいます。公共施設などに感謝を伝えるため登別市立図書館にも来館され、花束とメッセージボード・手作りの花瓶をいただきました。教会学校の皆様、ありがとうございました。



ロビー展示

なんもなんぞ



「7/17 道みんなの日関連展示 北海道弁だべさ」

7/17 の北海道みんなの日(愛称:道みんなの日)に合わせて、北海道弁に関する展示を行います。

期間 7月12日(土)～24日(木)

場所 本館1階ロビー



..... 私の一番!



今から40～50年前に父が登別に家を建て引っ越してきました。
暮れも間近な12月25日、(クリスマス?)やはり期待と不安で一通り家の中のチェックをすると『なんということでしょう!!』

風呂が…無い…?!

何でも業者に部品が届いていないとの事で、あとひと月は掛かるらしいと聞きました。

1ヵ月も…暫し愕然としましたが、そこは父曰く「せっかく登別に来たのだから温泉に行こう!」と急に張り切り出し、それからの我が家は夕食が終わるとそれぞれ着替えとシャンプー等を持ちいざ温泉へ!が日課になりました。

大の風呂好きの父はあっちの温泉、こっちの風呂と楽しんでいるようでした。

もっとも私たち子ども達は湯上りの気持ち良さで、帰りの車の中ではいつもぐったりと寝てしまっていました。

風呂釜が入ってからも休みといえば温泉巡り、父の一番の楽しみになっていたようです。登別に来てよかったね、いろんな温泉に直ぐに行けるからと母が嬉しそうに話していました。

登別温泉の自然湧出量は1日1万トンあり、9種類の泉質で毎分 3,000 リットル湧き出しているそうです。泉温は 45 度から 90 度、泉質の効能は皮膚病、神経痛、疲労回復、冷え症等々で、いわゆる源泉かけ流し、なんとも贅沢!

北海道の名付け親の松浦武四郎が1845年以降数度に渡り立ち寄り、その後近江商人の岡田半兵衛が硫黄採取の為に道を開き湯治人止宿小屋を開き、湯守として滝本金蔵(現第一滝本館創設)が湯宿を経営することになりました。

(「温泉教授・松田忠徳の日本百名湯」日本経済新聞社／発行)

(「ふるさと登別大図鑑」登別青年会議所／発行)より

そんな登別温泉からオロフレ峠に向かう途中にカルルス温泉があります。

わずか4館しかない山の中にひっそりと佇む旅館ですが、日帰り入浴のできる施設です。

シーズンともなれば宿泊客が多く、また近隣にスキー場もあることから、ウェア姿のまま入浴の為に来られる方々もいます。

この温泉は泉質がチェコスロバキアのカルルスバードに似ているところから「カルルス」と名付けられました。単純温泉で無色透明・無味無臭、アイヌの方は古くから療養の湯として利用していたとあります。

月に1・2度は訪れ年末年始は1年の区切りとして必ず出掛けています。

いい事もそうでない事もあった1年、そんな中での一区切りとしての存在になっています。

竹筒から鹿威しのように湯舟に注がれるお湯で顔を洗い、露天の風が気持ちいい!

父の大好きだった温泉が今は「私の一番!」になっています。





今月は第二日曜日！

デジタル分館おはなし会

日時 7月13日(日)14時～(30分ほど) 場所 アーニス分館 閲覧室
今月は『たなばたものがたり』など。大きなスクリーンでお楽しみください。

アーニス分館だより



夏休みのお楽しみ会



7月30日(水) 14時～16時 アーニス2階第3会議室

おはなし会

大型絵本など
おはなしをたっぷり！

絵本のお楽しみ袋も！🐣

もじさがし

ふうせんバスケット

まとあて

わなげ

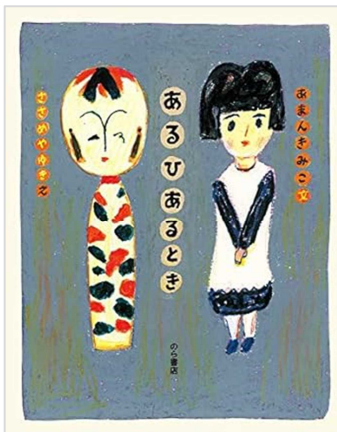


私のおすすめ本

児童室担当 六花の枝

「あるひあるとき」

あまん きみこ／文 ささめや ゆき／絵
佐藤 仁史／解説監修 のら書店／発行



いつでもどこでも一緒に過ごした大切なお人形やお気に入りのぬいぐるみ。多くの人に子供の頃の思い出があるのではないのでしょうか？

この絵本は、児童文学作家のあまんきみこさんが第二次世界大戦中、中国の大連に住んでいたときのご自身の体験をもとに語られています。

お父さんから日本のお土産にもらったこけしの「ハッコちゃん」。とても大切なお友達で、遊ぶときも眠るときもいつも一緒にいました。戦争が終わり日本へと引き上げるとき、ハッコちゃんと悲しいお別れをすることになります。

子どもの目線により当時の様子がやさしく伝えられ、戦争により子供たちが再び傷つき悲しむことがないように、明るい未来がひろがるようにと作者の祈りが込められています。

今年は戦後 80 年を迎える年です。夏休みに、お父さんお母さんやおじいちゃんおばあちゃんと一緒に、戦争や平和について考えるきっかけにして欲しい1冊です。

今月のおすすめ本 ～新着図書案内から～

「科学メガネ読本」

池内 了／著

KTC 中央出版／発行

免疫力ってなに？ 表情は遺伝する？ 夜空はなぜ暗い？ 塗り絵が流行っているのはなぜ？

日常を科学的な視点で見て考えることの楽しさをコンパクトに明快に紹介する。



「おにぎりは味方です」

瀬尾 幸子／著

Gakken／発行

近頃は世界的にも人気のおにぎり。時間がない朝、外で食べるランチ、夜の晩酌タイムや締めのごはんとどんなシーンでも食事の味方になってくれるおにぎり。おにぎりのいろいろな作り方や米のおいしい炊き方を紹介する。



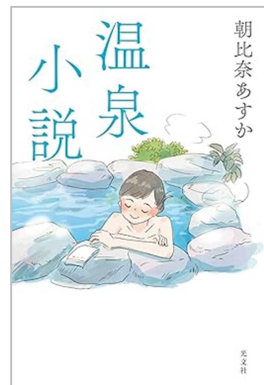
「温泉小説」

朝比奈 あすか／著

光文社／発行

年齢も性別も境遇も違う主人公たちが、思い惑い人生の苦みを抱えながら温泉地へと向かう。

その湯は強ばった心さえ解く力がある…。温泉ソムリエマスターの称号を持つ著者による幸せな孤独と満ち足りた解放を紡ぐ 6 つの温泉旅。



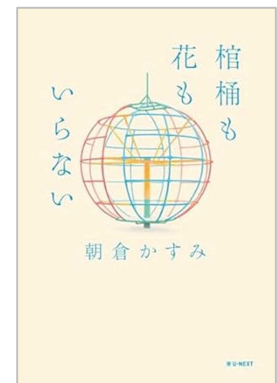
「棺桶も花もいらない」

朝倉 かすみ／著

U-NEXT／発行

日雇い労働、早期退職、シングルマザー、天涯孤独。幸せかどうか分からないけど、生まれてきたから生きている…。

明日への諦念と今日への執念を抱える人々の生きざまを活写した全 5 編を収録する。



デジタル分館おすすめ本

「もういちど育てる庭図鑑」

良原 リエ／著 KTC 中央出版／発行

育ててたのしい。食べておいしい。

コマツナ、トマト、サツマイモなど、野菜の葉や根、芯などをもう一度育てるリボベジ（再生栽培）。

野菜をはじめ乾物や香辛料、ハーブ、果物の種など 88 種類の実践例を、エピソードを交えて紹介する。



デジタル分館はインターネット環境があれば登別市立図書館の開館状況に限らず、24 時間好きなタイミングで利用が出来ます。

詳しくはホームページをご覧ください。職員までお尋ねください。

新 着 図 書 案 内 令和7年7月 No.1

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
0 総記				大転換の日本史 10人の英傑が「この国」を変えた	出口 治明
	● 町の本屋はいかにしてつぶれてきたか	飯田 一史		新・大阪学	畑中 章宏
ア	今すぐ使えるかんたんPower Point 2024	AYURA	ア	北海道キャンプ場ガイド 25-26	亜璃西社
ア	今すぐ使えるかんたんOutlook 2024	リブロワークス	ア	日本の絶景北海道	TAC株式会社 出版事業部
ア	できるOutlook 2024	山田 祥平 できるシリーズ 編集部	「北海道キャンプ場ガイド 25-26」 亜璃西社／編 亜璃西社／発行 北海道にあるキャンプ施設399カ所を、特徴がわかるよう細かなデータ・解説とともに紹介。 温泉・入浴施設イエローページや最新アウトドアギアも掲載する。 		
	東洋文庫の100年 開かれた世界屈指の学問の殿堂	牧野 元紀			
ア	PCTラブル自力解決マニュアル 完全保存版	日経PC21			
1 哲学・宗教					
	スツと頭に入る孔子の教え	山口 謠司監修			
	ままならぬ顔・もどかしい身体	山口 真美			
鷺	最新科学が教える決めることに疲れない「決断疲れ」をなくす習慣	堀田 秀吾			
車	四国歩き遍路マニュアル	中野 周平			
登	加門七海の風水探見	加門 七海			
	80代から人生を楽しむ人、後悔する人	『PHP』編集部			
車	● 満月珈琲店の星占い 心が整う12星座のスイーツ	望月 麻衣	3 政治・経済・社会・教育		
2 歴史・地理				マイナス相続サバイバルガイド	永峰 英太郎
登	文化財に泊まる。	偏愛 はな子	車	● 自分で自分の介護をする本	小山 朝子
	日本とロシア 忘れられた交流史	シュトフ・ヤロスラブ		ロシア女たちの反体制運動	高柳 聡子
	中国皇帝の条件	阪倉 篤秀		内務省 近代日本に君臨した巨大官庁	内務省研究会
	氏名の史実・現実	笹原 宏之		● 「国境なき医師団」をそれでも見に行く 戦争とバングラデシュ編	いとう せいこう
	雪豹の大地 スピティ、冬に生きる	山本 高樹		22世紀の資本主義	成田 悠輔
ア	るるぶ函館 五稜郭 '26	JTB パブリッシング		もう、無理 間違いだらけの会社選び	谷本 慎二
ア	るるぶ新潟佐渡 '26		ア	仕事に行きますプラス 4 まだまだ学びたい	季刊『コトノネ』 編集部
ア	るるぶ山形 鶴岡 酒田 米沢 蔵王 '26		ア	いつでも会社を辞められる自分になる	黒田 真行
	● NO JOURNEY, NO LIFE 私は行きたい。きっとそこには何かがある。	半藤 将代ほか	ア	知りたい！専門学校衛生分野 1 美容・理容・メイク・ネイルなど	大岳 美帆
	● プロの小説家が教える歴史作家の 秘ネタ帳	木下 昌輝	登	世界のお弁当とソトごはん	岡根谷 実里
	情報敗戦	中尾 茂夫		カウンターエリート	石田 健

新 着 図 書 案 内 令和7年7月 No.2

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書 名	著 者	所蔵	書 名	著 者
	輜軒語 清朝科学受験指南	張 之洞	4 自然科学・医学		
	介護と相続、これでもめる！	姉小路 祐		硬くて柔らかい「複雑系」骨のふしぎ	石井 優
	今さら聞けない結婚の超基本	朝日新聞出版		脳・心・人工知能 増補版	甘利 俊一
●	血と反抗 日本の移民社会ダークサイド	石井 光太		認知症とはどのような病気か	伊古田 俊夫
	読書バリアフリーサポート入門	成松 一郎 野口 武悟		図解がんとお金の話	黒田 ちはる
	子どもの体験学びと格差	おおた としまさ	車	歩く マジで人生が変わる習慣	池田 光史
	現役保育士58人がリアルに答える子育てのあるある「困った！」を解決する本	どろんこ会 グループ	車	パニック症「発作が怖い！」がなくなる本	境 洋二郎監修
	旅と歴史好きのためのご当地グルメ誕生の秘密	宇田川 勝司		● 科学メガネ読本	池内 了
ア	仕事に行ってきます 17 空港の仕事	埼玉福祉会 出版部		すごい科学論文	池谷 裕二
ア	仕事に行ってきます 18 保育園の仕事			多動脳 ADHDの真実	アンデシュ・ハンセン
登	「ひとり老後」の人づきあいの知恵袋	保坂 隆		天才伊能忠敬の地図を作る驚異の技術	齋藤 勝裕
鷺	わたしは学童保育指導員 新版	河野 伸枝		図説日本の洞窟	狩野 彰宏 柏木 健司
	保身の経済学 われわれはどう行動すべきか？	森永 卓郎		生物学史ひらめき図鑑	水野 壮監修
	黒いイギリス人の歴史 忘れられた2000年	平田 雅博		植物たちに心はあるのか	田中 修
	内調 内閣情報機構に見る日本型インテリジェンス	岸 俊光		● 動物たちの江戸時代	井奥 成彦
	世界の炎上 戦争・独裁・帝国	藤原 帰一		日本産サンショウウオ図譜	松井 正文
	実践！新社会人のキホン	内田 和俊		じゃないほうの肩こり 悪姿勢 巻き肩 運動不足	歌島 大輔
	社会は「私」をどうかたちづくるのか	牧野 智和	鷺	専門医が教える带状疱疹	石井 康多
	育児・介護休業法、雇用保険法、次世代法 社内規程・様式・労使協定例	小磯 優子 高橋 克彦		いかにして解法を思いつくのか「高校数学」上・下	芳沢 光雄
	〈ひとり死〉時代の死生観	小谷 みどり		ココが知りたい地球温暖化	国立環境研究所 地球システム領域
	給食無償化	鷹 咲子		もしもハチがいなくなったら？	横井 智之
	子どものおしゃれにどう向き合う？	鈴木 公啓		コアラのひみつ	南幅 俊輔
	「電チャリ通」から考えた地域づくり	北村 友人	ア	理学療法士になるには 改訂版	丸山 仁司
	国立大学教授のお仕事	木村 幹	鷺	前立腺がん治療大全	颯川 晋監修
	「東大卒」の研究	本田 由紀	車	● こんなことで、死にたくなかった	高木 徹也
ア	正しい「働き方」はどっち？	福田 裕史		日本列島「富士」案内	神沼 克伊
				コツがわかる！カエルの見つけ方図鑑	松橋 利光
				よく聞く健康知識、どうなってるの？	坪井 貴司 寺田 新

新 着 図 書 案 内 令和7年7月 No.3

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書 名	著 者	所蔵	書 名	著 者
5 技術・工業・家事				農家が教えるニワトリの飼い方	農文協
鷺	巾着の型紙の本	越膳 夕香		木に「伝記」あり 巨樹イチョウの史料を探して全国を歩く	瀬田 勝哉
	ファスト化する日本建築	森山 高至		カスハラの子供	関根 真一
●	石炭挽歌 NHK札幌放送局〈炭鉱事故〉担当アナウンサーの記録	末 利光	●	それでも人生にYesと言うために JR福知山線事故の真因と被害者の20年	柳田 邦男
	ゲームフリーク	とみさわ 昭仁		だから路面電車は生き返った	中田 裕一
ア	LINE/X/Instagram/Facebook/YouTube/TikTokの「わからない!」をぜんが解決する本 最新版	宝島社		てっぺん発鉄道物語	荒木 文宏 奥原 哲志
ア	●魔法のてめき献立100	てめキッチン	7 芸術・スポーツ		
車	ひとり分やる気1%超ビギナーごはん	ハマごはん		もっと知りたい国宝	土屋 貴裕ほか
車	●おにぎりは味方です	瀬尾 幸子		日本の絶景写真ベスト200	デジタルカメラ マガジン
鷺	まいにち梅づくし生活	山本 将志郎	鷺	基本からわかるクラフトバンド&PP バンドのバッグ・かご	松田 裕美
	江戸・東京水道全史	鈴木 浩三		原田マハのポスト印象派物語	原田 マハ
	純喫茶図解	塩谷 歩波		書とはどういう芸術か 増補版	石川 九楊
ア	誰でも上手にできる刺しゅうのコツ &ユニークなステッチ	関 和子		道を拓く 元プロ野球選手の転職	長谷川 晶一
ア	京都の乾物屋さんから教わるお出汁 と乾物	山下 由美子監修	車	絵本作家えがしらみちこのはじめて の小さな水彩イラスト	えがしら みちこ
鷺	クルマの最新メカニズム	鈴木 喜生		アンパンマンと日本人	柳瀬 博一
鷺	歳時記のこもの	ブティック社	●	ヨイヨワネ あおむけ編	ヨシタケ シンスケ
鷺	炒餃 いつでも食べたい炒飯と餃子	今井 亮	●	ヨイヨワネ うつぶせ編	
鷺	かもめ食堂野菜が美味しい季節のお そうざい	船橋 律子		文化系のための野球入門	中野 慧
車	果物をとことん楽しむ果実酒、ジャム、シロップ	大庭 英子		なぜ超一流選手がPKを外すのか	ゲイル・ ヨルデット
車	かずをはぐくむ	森田 真生		キャンプ大全 決定版	ソトレシビ
	ウンコノミクス	山口 亮子	●	歌うように伝えたい	塩見 三省
ア	はじめましての旬レシピ	白央 篤司		人生、上出来	樹木 希林
6 産業・商業			車	Emmaのかわいいイラスト描き方 レッスン帖	Emma
	アジサイの育て方	川原田 邦彦	車	花と自然の切り紙100	うえはら かずよ
	身近な野草&キノコ180種	森 昭彦 水上 淳平		ヨーロッパの美しい山	フローリアン・ リウ
	鉄道車掌トラブル日誌	綿貫 渉	●	脇阪克二のアイデア箱	脇阪 克二
ア	たくさがわ先生が教えるスマホの困 った!お悩み解決超入門	たくさがわ つねあき	車	●やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく	梯 久美子
	●コンテナ菜園の完全攻略レシピ	淡野 一郎	鷺	こだわりのコピック技法	すーこ

新 着 図 書 案 内 令和7年7月 No.4

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書 名	著 者	所蔵	書 名	著 者
8 言語				夏休みの殺し屋	石持 浅海
	「分かりやすい文章」の技術 新装版	藤沢 晃治		● 珈琲怪談	恩田 陸
	ほんとうの会議 ネガティブ・ケイパビリティ実践法	帚木 蓬生		団地メシ!	藤野 千夜
	おもしろ四字熟語図鑑	北澤 篤史		● それいけ! 平安部	宮島 未奈
登	長濱清蔵のアイヌ語 十勝地方の物語	湘南アイヌ語 研究会		潮音 第4巻	宮本 輝
913 日本の小説				● 救われてんじゃねえよ	上村 裕香
登	● 温泉小説	朝比奈 あすか		● ありか	瀬尾 まいこ
車	成層圏の墓標	上田 早夕里		出版禁止 女優真里亜	長江 俊和
鷺	父の回数	王谷 晶	ア	名探偵再び	潮谷 駿
鷺	いつ?何時何分何秒?地球が何回 まわったとき?	田丸 雅智	車	● 署長サスペクション	今野 敏
鷺	● ヴァンパイア・シュテン	福田 和代	車	闇をわたる セレブ・ケース	堂場 瞬一
車	● 最悪の相棒	伏尾 美紀	鷺	● 口出し屋お貴	中島 要
車	君が眠りにつくまえに	水沢 秋生	車	冷ややかな悪魔	石田 夏穂
車	雌鷄	楡 周平	車	へっぽこ膝栗毛 3	稲葉 稔
	山本周五郎<未収録>時代小説集成	山本 周五郎	登	愛の獣は光の海で溺れ死ぬ	金子 薫
	● 嘘と隣人	芦沢 央		記念日	青山 七恵
	ふたり腐れ	櫛木 理宇		YABUNONAKA-ヤブノナカ-	金原 ひとみ
	たのしい保育園	滝口 悠生		● 交番相談員百目鬼巴	長岡 弘樹
	普通の底	月村 了衛		長くなった夜を、	中西 智佐乃
	● ミス・パーフェクトの憂鬱	横関 大		● ああうれしい (まんまことシリーズ 10)	畠中 恵
	● 棺桶も花もいない	朝倉 かすみ		鬼哭の剣 新装版	北方 謙三
車	埋火(芝神明宮いすず屋茶話 1)	篠 綾子		● 偽医者がある村	藤ノ木 優
車	花火(芝神明宮いすず屋茶話 2)			もの語る一手 Stories about SHOGI	青山 美智子ほか
車	ゾンビがいた季節	須藤 古都離			
車	桜風堂夢ものがたり 2 時の魔法	村山 早紀			
車	あの日、タワマンで君と	森 晶磨			
鷺	夜と霧の誘拐	笠井 潔			
鷺	人生を変えたコント	せいや			

新 着 図 書 案 内 令和7年7月 No.5

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書 名	著 者
9 その他の文学		
車	この味もまたいつか恋しくなる	燃え殻
車	花粉はつらいよ	岩井 圭也
	ゼロから俳句いきなり句会	岸本 葉子
	自分の感受性くらい	茨木 のり子
	わたしの言ってること、わかりますか。	伊藤 亜和
	母なる自然のおっぱい	池澤 夏樹
	昭和的	関川 夏央
	母の旅立ち	尾崎 英子
	一冊で読む漢詩400	鷺野 正明
	●フェアリー・テイル 上・下	ステイヴン・キング
	図説赤毛のアン 増補版	奥田 実紀
	翻訳する私	ジュンパ・ラヒリ
車	巣鴨のお寿司屋で、帰れと言われたことがある	古賀 及子
車	●ジジイの昭和絵日記	沢野 ひとし
鷺	日常のフローチャート	森 博嗣
	寂聴先生が残してくれたもの	瀬尾 まなほ
	年賀状は小さな文学作品	牛島 信
	作家とおやつ	平凡社編集部
	生きる言葉	俵 万智
	●ギンガムチェックと塩漬けライム	鴻巣 友季子
	こうしてぼくはスパイになった	デボラ・ホプキンソン
	袋小路 (シムノン ロマン・デュール選集)	ジョルジュ・シムノン
鷺	みえないもの	イリナ・グリゴレ
	●終わりになき対話	谷川 俊太郎 中島 みゆき
	マイ・ディア 親愛なる物語	氷室 冴子

「口出し屋お貫」

中島 要／著

祥伝社／発行

3度目の奉公先から暇を取ったおれんは、昔馴染みの口入れ屋を訪ねた。

先代から店を継いだ孫のお貫が、奉公先を辞めた経緯を語らせるのに反発して、おれんは店を飛び出すが…。

若き口入れ屋の女主人と元花魁が、人からまる糸を解く江戸人情話。



「たのしい保育園」

滝口 悠生／著

河出書房新社／発行

2歳のももちゃんとお父さんは日々、川べりや公園を歩く。過ぎていく時間と折々の記憶は、いつしか祈りへと昇華していく…。かけがえない瞬間を描く新時代の「父」の物語。



「終わりになき対話」

やさしさを教えてほしい」

谷川 俊太郎／著

中島 みゆき／著

朝日出版社／発行

大学の卒業論文でテーマにするほど、谷川俊太郎に深い関心を抱いていたシンガーソングライターの中島みゆき。

1980年と2022年に行われた二人の対談や、互いについてのエッセイなど時空を超え語り合う詩人ふたりの交流記録。

終わりになき対話

—やさしさを教えてほしい—

谷川俊太郎・中島みゆき



300年後に会いましょう!

1980年秋の谷川俊太郎と中島みゆきの対談と、彼ら二人の生涯について書かれたエッセイなど、互いの言葉と記憶の交差点を、42年ぶりの対談で再訪する記録。

